

DISK UNION MUSIC DISTRIBUTION

オーダー締切日2009年8月27日(木)✕

画家/現代美術家として活動する「岩永忠すけ(真美鳥.etc)」

ソロアルバム「サマーマウンテンサマーシー」

岩永忠すけ(真美鳥.etc)、ヤマタカEYE (boredoms,etc)の作品をはじめ、
気鋭のアーティスト作品を紹介し続けるアートギャラリー「magical,ARTROOM」が
立ち上げたレーベル「GULLWING RECORD」より発売。

ARTIST/TITLE	岩永忠すけ / サマーマウンテンサマーシー		
FORMAT	CD	税抜卸価格	¥1,072
規格NO	GWR002	税抜販売定価	¥1,429
BARCODE		税込販売定価	¥1,500
レーベル	GULLWING RECORD		

アンビエントな音作り上げる静寂の世界。
その隙間から差し込むかすかな狂気がある。
音楽＝芸術の領域を再認識させる「岩永忠すけ」のソロアルバム。

環境音やあいまいなフレーズのリフレインが随所に入り込んでくるので認識できない領域での音楽が奏でられていく。曲中には、どこか無感情な声や海や山や街の空にぼんやりと響きいつかの別々の感情が同時に発生するような不思議な感覚にとらわれる。坂本龍一の「ビューティー」ともまた違うような時代を超えた空白感。意味のあることを言っているようだけどほとんど意味が失われていくような声やさわやかに鳴るシンセサイザーとゆらぎ系のギターが、キタロウ並の浸透力でもって環境音に溶け込もうとして絶妙なポイントで融解していくのは、聴いていてとても気持ちがいい。旅をしているかのような東京と九州の海山の風景がどンドン軽くなっていずれは透明になりやがて殺伐飄々としてフラットとしかいいようのない感情へいたったのちにあるものは・・・

間違いなく今しか生まれなかったであろう音。このアルバムを聴き終わった時にはほとんどの場合、意識が朦朧としている。特に「公園」「九州海の音」以降の流れは意識が保てなくなりがちだ。例えば、「サザンクロス」でのタモリとマイルスデイビス対談からの「Do not be nervous」というささやき、死に近いといったらいいだろうか。それよりもっとあいまいな空白地帯かもしれない。一度聴いて満足することはないだろう、何度も聞き込んでしまう深みがある。なのに今しか聴けないような刹那的な印象や、妙な明るさ清々しさもある。そういう感じはどこからやってくるのだろう。この透明でいい加減なサウンド、間違いなく今の音だ。また、「サマーマウンテンサマーシー」に欠かせない要素となっているのが本当の千葉サウンドを代表するビデオ屋の店員、ノグチの楽曲「Noguchi's sketch」「サザンクロス」であり、これがいいようもないリアルすぎる空白感を生んでいる。きっとこのアルバムを通して聴いたときには、ある夏の原風景がちらついているだろう。

■ TRACK LIST ■

1. ブルー
2. 青空
3. 公園
4. Noguchi's sketch
5. 九州海の音
6. サマーマウンテンサマーシー
7. とんで火に入る夏の虫
8. サザンクロス

■ 岩永忠すけ ■

1979年日本、佐賀県生まれ。
17才から絵と音楽を本格的にはじめる。
2001年より結成されたロックバンド「真美鳥」にて歌とギターをつとめ、数多くのライブ活動を行う。
2006年9月には真美鳥企画「天国」を主催。
2003年にファーストアルバムをアナログで製作。
2008年にはmagical, ARTROOMのレーベル、Gullwing Recordより、真美鳥のセカンドアルバム、ライブアルバムの発表を予定、ソロアルバムの発表もひかえている。
2000年より絵の発表をつづけている。
2002年、T&S(東京)にて宿命的な初個展を開き、その後も爾々と製作と発表を繰り返す。
2003～2004年の重要な発想の転換の後、2004年、ギャラリー一覚(東京)にて、「返事、無言。」を開催。
2007年に、音楽活動を通じて出会っていた、magical, ARTROOM(東京)での個展の後、LISTE07(スイス)に出品。2年に及ぶ製作期間を経て2007年に漫画「TAKIJIRO」を発表、出版。



■ TOTAL INFO ■

Gullwing Record www.gullwing-record.com
info@magical-artroom.com

発売日

2009年9月12日

LIST No:

オーダー数